

## 「Fukuoka Art Next」今月のアート（11月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

### ■ アーティストについて

#### 立木 美江（たちき よしえ）

1983年福岡県生まれ、福岡市在住。2011年九州産業大学大学院芸術学部東洋美術史専攻博士課程修了（美術博士）。野に咲く草花を対象に時の流れで移り変わる自然の美しさを描く日本画家です。2021、2022年「Fukuoka Wall Art Project」入賞。

### ■ 作品について



作家名 : 立木美江  
作品名 : ふきよせ  
制作年 : 2021年  
材質技法 : 顔料・紙  
サイズ : 41.0×31.8 (cm)

様々な種類の枯葉が画面全体に描かれ、ところどころに白い木の実が見られます。背景は暗く、枯葉は白色の他に、青や紫など多彩なものもあります。木の実は形からクスの実で、本来黒色ですが、ガラスのように半透明に描かれています。「ふきよせ」とは、落ち葉などが風に吹き寄せられて一か所に集まっている様子を指します。晩秋の日常風景にある落ち葉や木の実が、まるで色が反転したかのように、儚く幻想的に描かれています。

#### 【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：山木、後藤

TEL：714-6054 FAX：714-6145 E-mail：yamaki@fukuoka-art-museum.jp